

# LANDSCAPE DESIGN

youth

2012 年度 総会

配布資料 + 議事録

2012 年 4 月 28 日 (土)  
東京大学工学部 1 号館 15 号講義室

## プログラム

第 1 部【会員限定】 14:30～16:30 (15 号講義室)

- ・ 2011 年度活動報告
- ・ 2012 年度組織体制および活動方針
- ・ 新規役員選出

第 2 部【一般参加可】 17:00～19:00 (15 号講義室)

- ・ 連続レクチャー「スケールをつなぐ、時間をつなぐ」  
第 1 回 : 長谷川 豪氏

懇親会【一般参加可】 19:30～ (14 号講義室)

※参加費 1000 円

## 活動報告

---

### 総会 論文・設計発表会

5月14日(土) 15:00~18:30  
東京大学工学部1号館土木設計演習室にて  
参加者: 総会約40名、発表会約50名  
【総会】  
2010年度活動報告  
【論文・設計発表会】  
ユースメンバー7名による発表と質疑



### GS24 (GSデザイン会議と共催)

7月1日(金) 16:00~7月2日(土) 16:00  
鳳鳴刊本館大広間(本郷)にて  
24時間、24のテーマ、24のユニットによる公開討論イベント  
GSDyでは4つのセッションを担当



### 「Detail Design」 (サロン)

7月30日(土) 18:00~21:30  
幸伸ビル地下1F 秘密基地(本郷)にて  
参加者: 27名  
マテリアルと色彩の専門家をお招きし、ディテールと風景について議論した  
【講師】  
加藤 幸枝氏(Climat)  
田村 柚香里氏(アクリア/ワークヴィジョンズ)



### GSDW2011

9月4日(土) ~9月11日(土)  
東京大学工学部1号館土木設計演習室にて  
参加者: 32名(8班)  
【講師】  
篠原 修(東京大学名誉教授)  
内藤 廣(内藤廣建築設計事務所)  
塚本 由晴(アトリエ・ワン / 東京工業大学大学院)  
乾 久美子(乾久美子建築設計事務所)  
小野寺 康(小野寺康都市設計事務所)  
中井 祐(東京大学大学院)  
西村 浩(ワークヴィジョンズ)  
山崎 亮(studio-L / 京都造形芸術大学)  
後藤 治(工学院大学大学院)  
河原 晋(首都大学東京大学院)



---

## 海の博物館・漁村 見学会

9月23日(金)～9月24日(土)  
参加者：7名  
1日目：海の博物館にて見学と座談会  
2日目：相模・大王町の2つの漁村を見学  
【講師】  
海の博物館 平賀氏  
SOS 運動本部事務局  
相模町 現役海女のみなさん



---

## 「若手から見た 仕事の面白さ」 (社会人サロン)

9月17日(土)18:00～20:30  
東京大学工学部1号館セミナーA室にて  
参加者：約30名  
【プレゼンター】  
長谷川 雄生 (八千代エンジニアリング)  
永山 悟 (アトリエ74)  
渡邊 加奈 (国土交通省)  
西村 祐人 (文化財保存計画協会)  
大藪 義久 (日建設計シビル)

NO PHOTO

---

## 「欧州ドボクデザイン 紀行報告会」 (サロン)

11月11日(金)18:00～21:00  
東京大学工学部1号館セミナーA室にて  
参加者：約30名  
欧州に留学されていた講師の方による、橋梁を中心とした欧州のドボクデザイン紹介  
【講師】  
八馬 智氏 (千葉大学)



---

## 景観系 若手交流会

12月2日(金)18:00～20:00  
PRONTO 御茶ノ水店にて  
参加者：約60名  
「景観・デザイン研究発表会」の日本大学での開催に合わせ、KL2・景観開花実行委員会と合同で前年に引き続き第2回若手交流会を開催



---

## GSDW2011 市民発表会

12月17日(土)14:00～17:00  
牛久市役所第3会議室にて  
参加者：約30名  
牛久市でのWS成果発表  
市民の方からは講評会とはまた違った反応を頂き、ポスターセッションも盛況だった



---

## 篠原教授 退任イベント

12月20日(火)14:00~17:00  
東京大学農学部弥生講堂アネックスにて  
参加者：約100名  
・「篠原修が創り出した風景」動画上映  
・座談会  
篠原 修 (政策研究大学院大学)  
小野寺 康 (小野寺康都市設計事務所)  
南雲 勝志 (ナグモデザイン事務所)  
中井 祐 (東京大学大学院)  
・篠原教授最終講義



---

## 「橋梁歩き初め」 (見学会)

1月7日(土)9:30~18:00  
参加者：9名  
橋梁デザインの専門家の講師をお招きし、  
横浜・川崎臨港部の橋梁を見学  
【講師】  
松井 幹雄氏 (大日本コンサルタント)



---

## 描き初め 2012

1月8日(日)8:40~20:30  
東京大学工学部1号館 土木設計演習室にて  
参加者：21名  
【講師】  
藤村 龍至氏 (藤村龍至建築設計事務所)  
【課題】  
「超鶯谷 (Hyper Uguisudani)」の設計  
対象地の「らしさ」を読み解き凝縮させ、  
「鶯谷らしいかたち」を提示すること。



---

## 交渉 WS サロン

第2回も実現可能なので、  
企画者を募集中!

2月25日(土)18:00~21:30  
構造計画研究所レクチャールームにて  
参加者：16名  
【講師/TA/オブザーバー】  
金 弘宗氏 (構造計画研究所)  
村井 一氏 (日本設計)  
一色 正彦氏 (金沢工業大学大学院)  
田中 康之氏 (TBS テレビ)  
佐藤 祐一氏 (グリア)  
阿部 仁氏 (富士ゼロックス)



---

## GSDy Letter Letter Premium

【GSDy Letter】  
Vol. 44~55 発行  
【GSDy Letter Premium】  
9,10,11号発行・web公開  
東日本大震災、学生×社会人対談等を掲載  
今年度はGSフリーペーパーに統合予定



# 会計報告

2011年度 GSDy 決算

2012/3/30 作成

## 年間予算計画

### 収入

収入源	内訳	金額(円)	備考
昨年度繰越金		¥289,916	
年会費	1名 1000円×147名	¥147,000	新規入会分含む
親会議より		¥950,000	2011/7/14, 2012/3/15 振込
総会懇親会費		¥39,000	2011/5/14 分
描初め会費	1名 3000×24名	¥72,000	
雑収入		¥1,355	空きビール瓶回収など
利息		¥52	
合計		¥1,499,323	

### 支出

支出先	内訳	金額(円)	備考
企画	総会	¥80,649	懇親会費、交通費等
	篠原イベント	¥212,082	源泉徴収分追加
	サロン	¥11,110	7/30。色・素材サロン。謝金
	サロン	¥19,426	9/17。社会人サロン。飲食費
	見学会	¥6,005	9/23。海の博物館。謝金・報告書
	サロン	¥5,555	11/11。欧州ドボクデザイン。謝金
	見学会	¥28,500	1/7。橋梁見学会。交通費
	GSDW	¥608	模型箱作成費
	描き初め 2011	¥215,830	講師謝金交通費含む
	レター	¥361,005	Let. 11回、LP. 4回(冊子郵送含)
雑費	メーリス・サーバー	¥7,430	景観研究室内外含む
	振込み手数料	¥3,150	レター関連・篠原イベント関連
合計		¥951,350	

### 収支

項目	金額
収入合計	¥1,499,323
支出合計	¥951,350
収支結果	¥547,973

※GSDW は別会計のため、ここでは記載なし

表中の「GSDW ¥608」は、模型箱の材料代のみユース会計から出したもの





# 2012 年度組織体制および活動方針

## 1. GS デザイン会議（親会議）NPO 法人化

### 1) NPO 法人化の意図

- ・まちづくりや空間づくりの分野で活動する実務者、行政、市民、学生が、より広く議論に参加し、知見を共有できる体制とする
- ・法人となることで、まちづくり支援や市民を含めたネットワーク拡充等活動の幅が広がる

### 2) 経緯

2011.10.06 登記完了

2012.03.31 任意団体を解散→NPO 法人 GS デザイン会議に会員・資産を移行

### 3) 会員種別（    が新たに設置された種別）

- ・個人会員（個人） 入会金 10,000 円、年会費 10,000 円
- ・市民会員（個人） 入会金 0 円、年会費 1,500 円（※）
- ・ユース会員（学生） 入会金 0 円、年会費 1,000 円 ←実際には社会人も含む
- ・サポート会員（団体） 入会金 0 円、年会費一口 50,000 円（四口以上）
- ・名誉会員 入会金、年会費なし

### 4) GSDy の位置付け

- ・GSDy のメンバーは、NPO 法人 GS デザイン会議（以下 GS）にユース会員として所属
- ・GSDy は、GS の中で企画・予算の執行権限を持って活動する一つのユニットとする（従来通り独自に活動を行う）
- ・会計は形式上 GS の中に属することになるが、実質の管理（年会費の徴収、予算の作成・執行）は GSDy 内で行い、毎年度末に一旦 GS 会計に渡し、改めてユニットの予算として受け取る
- ・会員の管理も GSDy 内で行い、半期に一度 GS 事務局に名簿を提出する

### 5) GS デザイン会議の活動方針

- ・活動に応じたユニットを立ち上げ、各ユニットが独自に活動する
  - プロジェクト/ネットワーク/メディア・広報/復興支援/ユース など
- ・【メディア・広報ユニット】フリーペーパー「GROUNDSCAPE PAPER」が企画進行中

## 2. 今年度 GSDy の活動方針

### 1) これまでの組織・活動の状況と課題

- ・発足から7年目、会員は3月時点で約160名 : 「つながり」を求めて参加する人が多い?
- ・活動内容の固定化・実働部隊の少なさと固定化
  - 中心となって活動するメンバーに負担が集中
  - 新しいことに手を挙げにくい雰囲気があるのでは

### 2) 活動方針と組織体制(提案)

#### ■企画

- ・GSDW・レター以外の活動は一度全て白紙とし、メンバーからの企画提案を常時広く募る
  - ある程度大きなイベントでも、仲間内で持ち上がった話をユースにも告知する、という程度でもOK
  - レタープレミアムは12号で廃刊とし、GSフリーペーパー「GROUNDSCAPE PAPER」に統合する
- ・役員として「企画チーム」を設置し、企画が出た場合に必要なら運営を補助あるいは主導する
- ・企画内容をwebやフリーペーパーのコンテンツとして提供する場合は、企画チームがとりまとめを行う
- ・メンバーから企画を出してもらいやすくするためには、  
ある程度枠組み(どの程度の企画なら実現可能か、など)を提示することも必要では →詳細要検討
  - 企画書のフォーマットを作っておく
  - 窓口として企画チームの連絡先をHPに記載
  - 予算の割り振り、謝金額などは団体として管理する必要性→企画チームが補助
  - 開催時期の大まかな目安も(今までのように)決める?
- ・企画チームは、コーディネーター的な役割を担うと良いのでは
  - 誰がどんなことをやろうとしているかキャッチして、具体的な企画にしていく
  - 現在のユースでどんな活動が求められているか、ニーズを把握することも重要
- ・これまでのサロン等企画者に、大変だったことや要望等アンケートをとってはどうか
- ・ゆるい飲み会のような企画も重要
  - 形式上NPOに属することになるが、その中でも若者は自由に活動している、というのが面白いのでは
  - 定例会や連続レクチャーの事前勉強会と合わせて、定例飲み会を開催してはどうか

#### ■卒業制度

- ・社会人になって5年経過を目安に、引き続きGSへの所属を希望する場合は、原則ユース会員から個人会員へ移行することとする
- ・移行する場合は、前年度末で一旦GSDyを退会し、新年度から個人会員として入会する形となる
  - GSに「会員種別の変更」という枠組みがないため
  - 個人会員初年度は入会金+年会費が必要
- ・特に要望がなければ、ユースのMLからは外さずに残すこととする



■組織体制

- 代表（2名） 永井友梨／田邊裕之  
WS代表（2名） 安田尚央／宮坂知成  
会計（1名） 飯島怜  
広報（1名） 本田亮吾  
企画（4名） 金子玲大／田中周平／小田切萌／原田恵  
\*企画チームについては、随時メンバー募集中です  
HP（1名） 松宮かおる

3) 活動予定

■GSDy 独自の活動

- ・GSDW2012（9月）
- ・連続レクチャー「スケールをつなぐ、時間をつなぐ」（4月～12月）
- ・レター（毎月発行）
- ・ほか、随時募集中！

■GS デザイン会議との協働

- ・GROUNDSCAPE PAPER（10月・4月発行）
  - 紙面の一部（2～4ページ？/16ページ）をユースが担当
  - 現在のところ、毎号地域を決めて取材に行き、土木・建築・ランドスケープ等各分野のみどころをまとめたマップを作成する、というコンテンツ案が進行中  
（詳細は、先日の「GS フリーペーパー記者募集」のML参照）
  - ユースの見学会と兼ねて企画することも可能では
- ・GS24（7月）
- ・GS 連続シンポジウム第3弾（10月～）
  - GS事務局からは、今回はユースで企画してやってほしいとのこと
  - 早めに担当者を打診して（社会人メンバー？）中心となって動かしてもらおう →要検討
- ・企画運営参加者、随時募集中！
- ・GSと協働の活動をするのは良いが、それだけに追われてユースでやりたいことができなくならないように、「ユースでやりたいこと」が何なのかや協働のあり方等、継続して考えていくべきでは

## 予算計画

2012 年度 GSDy 予算案

2012/4/26 作成

### 年間予算計画

#### 収入予算 (案)

収入源	内訳	金額(円)	備考
前年度繰越金		¥547,973	
年会費	1名 1000円 × 140名	¥140,000	
合計		¥687,973	

#### 支出予算 (案)

支出先	内訳	金額 (円)	備考
企画	総会費用	¥80,000	
	レター	¥240,000	12回
	レタープレミアム	¥50,000	1回のみ(その後はフリーペーパーへ移行)
	その他イベント	¥500,000	見学会・サロンなど
雑費	サーバー代	¥7,430	
予備		¥50,000	
合計		¥927,430	

#### 収支 (案)

項目	金額
収入合計	¥687,973
支出合計	¥927,430
収支結果	¥-239,457

親会議からの助成金は除いてある

GSDWは別会計のため、ここでは記載無し

GS 連続シンポジウムは別会計とする

- ・ここでは助成金を除いてあるため、ここでのおよその赤字分¥250,000 を今年度の助成額として申請
- ・GS 連続シンポジウムは別予算として受け取るため記載なし。予算規模は¥300,000 を予定
- ・「その他イベント」の¥500,000 を、連続レクチャー、今後企画されるイベントに使用
  - GS フリーペーパー関連の取材等については、GS のメディア・広報ユニットの予算からも出る場合があるが、例えば取材とユースの見学会を兼ねて行い、参加費以外に経費が必要になった場合等は、ユース予算を使用できることとする
- ・ユースが GS のユニットという形になるため、手続き上は次のようになる
  - 年度末に、繰越金（前年度繰越金+その年度の助成金+その年度の年会費-その年度の支出）を GS 会計に返却
  - 次年度初めに、（繰越金として返却した額+次年度の助成金）を GS 会計よりユースユニットの予算として受け取る